



Embassy of Japan
in the Kyrgyz Republic

在外公館文化事業「ジャパン・デイ」の実施

2023 年 10 月 21 日、在キルギス日本国大使館は、ビシュケク市最大のショッピングモール「ドルドイ・プラザ」のイベントホールにおいて「ジャパン・デイ」を開催しました。本イベントは、キルギスの一般市民に広く日本文化を紹介することを目的として 10 月に実施された日本文化月間「ジャパン・マンス」の締めくくりとなるものです。

本イベントは二部構成となり、キルギス日本人材開発センター所属の「大江戸太鼓」による迫力ある和太鼓演奏によって第一部のステージプログラムが幕を開けました。その後 JICA 青年海外協力隊のボランティア、日本人留学生及び当地学生総勢 20 名が、日本の民謡に合わせた踊り南中ソーラン節を披露したのに続き、2025 年に大阪で開催される日本国際博覧会のテーマソング「この地球の続きを」による盆踊りを披露し、盆踊りでは来場者が一緒に輪になって踊りを楽しみました。続いて、キルギス人歌手グルム・カシムバエヴァ氏及びオムルベク・アンダルベコフ氏が美しい歌声で日本語の歌を披露した後、アニメ愛好グループによるアニメの映像及び曲に合わせたコスプレコンテストが行われ、合田大使が観客によって選ばれた上位入賞者への表彰を行いました。コンサートプログラムの最後には、キルギス相撲連盟及び剣道連盟が武道パフォーマンス及び各々の武道に関するレクチャーを行いました。

第二部の日本文化体験プログラムでは、日本の伝統衣装である浴衣の着付け、茶道の体験及び書道のデモンストレーション、ヨーヨー釣りのブースが設置され、大使館職員夫人及び JICA 職員夫人有志が来場者に浴衣の着付けを行い、浴衣を着た来場者は写真を撮って喜びました。また、大使館職員によってお茶が点てられ振る舞われました。書道コーナーではボランティアスタッフが来場者の好きな言葉を半紙に書いて和紙をプレゼントしました。

合田大使は挨拶の中で、各演目の内容や出演団体について紹介し、来場者に様々な日本文化を楽しんでいただくよう呼びかけました。



